

平成28年度 第1回 国見町子ども・子育て支援推進協議会 会議録

と き 平成28年10月7日（金）10：30～11：50

ところ 国見町役場 大会議室

《出席者》11名

委員：五十嵐貴哉、金田由美、松浦由美子、大槻薫、

柴田千賀子、菊地勝彦、佐藤正美、八巻忠一

（欠席：曳地信一、八巻由季子、鈴木由実、高橋修一、鈴木智子）

事務局：岡崎教育長、中田課長、小野係長、高橋主任主事

進行：中田課長

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 町長あいさつ

子どもは「国見の宝」であり、子ども・子育て支援は重要になってくる。皆様からのアドバイスをよろしくお願いしたい。

4. 議題

（1）会長及び副会長の選任について

事務局一任の声により、**会長は柴田委員、副会長は八巻（忠）委員に決定。**

（2）平成28年度後期子ども・子育て支援事業の取り組み状況について

事務局より①町内の教育・保育施設の利用人数の推移、②地域子育て支援事業の実施状況、③屋内外遊び場の利用状況等、④その他の取組（キッズフェスティバル等）について説明。

金田委員：29年度の3歳児と30年度の4歳児の見込数が43⇒47に増えているがなぜか。

中田課長：3歳の時は在宅保育希望者がいることと、転入を見込んで算出した。

金田委員：施設の利用率が100%ではなく気になったので質問した。

幼稚園（預かり）や保育所は上の子の運動会や授業参観等で土曜日に利用できるのか。

中田課長：利用可能な旨を事前に保護者に周知している。

金田委員：要望だが、事業実施後の反省が必要だと思うので、周知してほしい。

柴田委員：議論の内容等について、広報などで周知してほしい。

中田課長：会議録をポータルサイトに公開する予定です。

教育長：保育所から中学校までコミュニティースクールという形で一貫教育をしている。評価の仕方は今年度からコミュニティースクール委員会で評価している。

五十嵐委員：乳児家庭全戸訪問事業はなぜ未実施があるのか。またその家庭への配慮はあるのか。

小野係長：保護者が希望しない場合や仕事復帰の場合である。健診や訪問でフォローしている。

佐藤委員：一時利用について、①0歳児を対象とした預かりはあるのか。また②保育所と幼稚園に両方3歳児があるが、なぜか。

小野係長：0歳児の希望がないわけではないが、保育士や施設等の条件もあり、預かるのは厳しいと考えている。保育所の表記は月齢であり、幼稚園入園前の児童が対象となる。

柴田委員：0歳児の預かりが大変なことは承知している。当面はしないという認識でよろしいか。

中田課長：設備整備が大変になる。通常保育の保育士が足りなくなることも想定されることから難しいと考えている。

五十嵐委員：くにみ幼稚園に通っていない満3歳児は預かってもらえるのか。

中田課長：その際は藤田保育所で預かれる。

柴田委員：子ども・子育て支援新制度が始まって、「わかりにくいこと」や「ここがよくなった」など町民の声等あれば教えてもらいたい。

小野係長：良い点として求職活動で申込みしやすくなったことがあるが、求職活動中で待機者が出ている状況。また、支給認定証の申請事務で保護者の手を煩わす点が増えた。

（３）平成29年度幼稚園、保育所児童募集について

事務局より1月31日現在の幼稚園・保育所・子どもクラブの申し込み状況と前年との比較などについて説明。

金田委員：保育料の金額は近隣市町村と比べて安いのか。

中田課長：近隣より安く、国基準よりかなり安い。

金田委員：0歳児は何人等年齢ごとの定員はあるのか。

中田課長：0歳児は15名。また年齢により保育室の広さが違うので、15名を超えた際は月齢により進級しながら受け入れている。ただし、2歳児への進級は幼稚園への進級の関係から行っていない。

育休明けなどすでにわかっている分については早いうちに提出していただくと調整しやすい。

（４）その他

中田課長：来年2月に第2回の協議会を実施する予定。その際に28年度の子ども子育て支援事業の状況と保育所・幼稚園等の募集結果について報告する。また時間があり、都合がつけば、各施設の見学も考えている。

教育長：貴重な意見ありがとうございました。取り入れられることは取り入れていきたい。また、先生方も頑張ってくれており、これからもきめ細かな保育を進めていく。

５． 閉会

八巻委員：今回の協議会の意見を町の事業に生かしていったほしい。